

(工事①)

工 事 経 歴 書

工事種別：

発注者名	工 事 名	工事場所のある 都道府県名	請負代金の額(千円)		着工年月	完成(予定)年月	公 共 ・ 民 間 の 別	
			元請の場合	下請の場合			公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民

記載上の注意

- 1 希望する工事種別ごとに区分し、別葉に作成すること。
- 2 下請工事については、発注者名の欄に元請業者名を、工事名の欄に下請工事名を記載すること。
- 3 審査基準日の直前2年又は3年の各営業年度における完成工事について記入すること。
- 4 許可業種に対応した建設工事ごとに、公共元請工事、民間元請工事、民間下請工事、その他小額工事の順に各々小計を付して記載し、営業年度ごとに当該建設工事の
- 5 工事種別ごとに完成工事高に係る集計表を添付すること。
- 6 主だった工事については1件ごとに記載し、その他の工事についてはまとめて「その他」としてもよい。

完成工事高集計表

単位：千円

工事種別	営業年度	決算期	完成工事高	元請 完成工事高	公共元請 完成工事高	民間元請 完成工事高	民間下請 完成工事高
	直近	年度					
	2年前	年度					
	3年前	年度					
	直前2年間(3年間) の平均完成工事高						
	直近	年度					
	2年前	年度					
	3年前	年度					
	直前2年間(3年間) の平均完成工事高						
	直近	年度					
	2年前	年度					
	3年前	年度					
	直前2年間(3年間) の平均完成工事高						

※千円未満端数切り捨て

【記入上の注意】

- 各営業年度の工事経歴書から、福島県の工事種別毎に完成工事高、元請完成工事高などを転記すること。
- 経営事項審査の完成工事高の選択(2年平均又は3年平均)に合わせて記入すること。
- 平均完成工事高欄は、各決算期の金額を縦に集計して算出するものとする。なお、千円未満の端数については、切り捨てとする(端数処理により各決算期の横の計算が合わなくても良いものとする。)

(工事③)

技術者経歴書

工事種別：

年 月 日 現在

職名	氏名	年齢	最終学校		法令による免許等		実務経歴	経験年月数	技術者区分				
			学校名	専攻学科	名称	取得年月日			1級	受講	基幹	2級	その他
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								年 月					
								計					

記載上の注意

- 1 希望する工事種別ごとに区分し、別葉に作成すること。
- 2 審査基準日の直前営業年度末における現在における技術者について記載すること。
- 3 建設業法第7条第2号イ、ロ、ハ又は第15条第2号イ、ハに該当し、かつ常勤の職員のみ記載すること。

